

空き家物件紹介

南吉富
エリア



【売買】7,500,000円
【建物】1階/110.59㎡ 2階/38.76㎡
【築】27年 居住中/補修なし

友枝
エリア



【売買】応相談
【建物】1階/80.32㎡ 2階/14.49㎡
【築】40年 空き家3年/要補修

西吉富
エリア



【売買】応相談 【賃貸】40,000円/月
【建物】1階/119.17㎡ 2階/21.66㎡
【築】50年 空き家3年/要補修

南吉富
エリア



【売買】応相談
【建物】1階/72.72㎡ 2階/14.81㎡
【築】100年 空き家11年/要補修
※昭和54年リフォーム

上毛町空き家バンク制度をご存知ですか？

「空き家バンク」は、空き家の賃貸や売却を希望する方からの情報を、空き家の利用を希望する方に紹介する制度です。

空き家の有効活用を通して、交流人口の拡大と移住・定住を促進し、地域の活性化を図ることを目的としています。



* 上毛町に住民登録がなくても登録できます。
上毛町に空き家を所有している方なら空き家バンクに登録可能です。

* 空き家バンクへの登録は無料です。
実際に賃貸・売買の契約を結ぶ際に宅建業者の仲介を依頼する場合は、手数料などがかかります。

* 空き家の修理や清掃費用の一部を補助します。
空き家バンクにご登録いただいた方が、物件の修繕や片付け・清掃などを行う場合に、その費用の一部を補助する制度があります。補助金額は、対象経費の1/2で上限50万円です。

アパートや
空き家物件など
民間賃貸住宅に入居
したら



移住・定住支援制度のご紹介 新婚世帯・子育て世帯 新生活応援補助金

町への移住・定住を促進するため、新たに町内の民間賃貸住宅に入居する新婚世帯または子育て世帯に補助金を交付します。

対象者

【新婚世帯】

- ・平成31年4月1日以降に結婚し、補助金の申請日において結婚1年以内のご夫婦
- ・補助金の申請日において年齢の合計が80歳未満のご夫婦
- ・平成31年4月1日以降に、新たに町内の民間賃貸住宅の賃貸借契約を締結し、町内または町外から入居した世帯

【子育て世帯】

- ・小学生以下のお子さんがある世帯
- ・平成31年4月1日以降に、新たに町内の民間賃貸住宅の賃貸借契約を締結し、町外から入居した世帯

※生活保護を受けている場合や町税などに滞納がある場合は対象となりません。

補助金

【初期費用】

引越費用、敷金礼金などの賃貸借契約費用から住宅手当を控除した額を交付します。(上限112,200円/1回限り)

【家賃】

家賃月額から住宅手当を控除した額を最長3年間交付します。(上限月額11,220円)

* 詳細については下記までお問い合わせください。

● 問い合わせ先 企画情報課 企画情報係 TEL 72-3112
ホームページ <http://koge-bukken.org/>

移住・定住者
インタビュー
interview

人生の可能性が 感じられる町へ

40年過ごした東京から
娘が暮らす上毛町へ

上毛町の地域おこし協力隊員であった娘から、任期終了後も生活の基盤を置いて仕事をしたいという話を聞き、親として何か手伝える事があればと考えていました。

そんな折、娘が親の東京での生活(自然災害などを心配して同居を勧めてくれました。実際、上毛町を訪れた際、地元の皆さんや環境など都会とは違う、暖かさやエネルギーの様な物を感じました。

妻が病気をしたことなどもあり、これからはのんびりとした環境でストレスを溜めない生活を目標し、2018年の秋頃から上毛町への移住を具体的に考え始めました。娘に相談すると、早速住む所を空き家バンクや知り合いのついで探してくれ、家財などを整理し、2019年5月に引っ越ししました。移住を考え始めてから、皆様のおかげで順調に物事が進展し、感謝しております。



こぼやしまさみつ
小林 正充さん(緒方)
かずみ
一未さん



正充さんの描く長年暮らした2軒長屋の水彩画やその他のデザイン画はまさにプロ並みの腕前。



「川釣り」が趣味の一未さん。「上毛町でテンカラ釣りをしてみたい」と楽しそうに話してくれました。

庭先で舞う蛍、池には白鷺が飛ぶ、そんな日常に感謝して

移住を始めるにあたっては、地元の皆様は温かく歓迎して頂き、安心感と共に以前から知っていた場所の様な不思議な感覚を感じています。仕事についても何かと気にかけてくださり、本当に恵まれた移住生活をスタートできたと感じています。人間関係が希薄な生活と便利さに慣れていったせいか、ここの暮らしは少しとまどうこともありますが、近所付き合いや買い物、仕事など毎日何かする事があり、それが新鮮で楽しいですね。お借りしている住宅の大家さんから「自分たちの住みやすい様にして頂いても良いですよ」と言ってもらったので合間をみつけてウッドデッキを作ったり少しづつ部屋を改装しています。家の前には稲屋があり、作業小屋にしています。



(レポーター) 地域おこし協力隊 桑原政行

私の様に、娘の仕事でお世話になった町に実家を移す形は珍しいかもしれませんが、今では東京での生活や災害の不安もなくなりました。上毛町は自然が豊かで、私たちに何か可能性を感じさせてくれる町だと思います。私も70代に突入しますが、まだまだ体も動けるので仕事も楽しみながら生活して行きたいと思っています。

グラフィックとインテリアを学びデザイン関連の企業に就職後独立。日曜大工から塗装までなんでもマルチにこなす起用な小林さん。今後は上毛町の各所を巡り、お気に入りの場所をスケッチしてみたいと話していました。